

地域医療支援病院業務報告要旨

Ⅰ 概要

病院名	フリガナ	ヤマチウオビョウイン
		津山中央病院
所在地		津山市川崎1756
管理者氏名		病院長 林 同輔
承認年月日		平成23年7月29日
業務報告書提出日		令和6年10月2日

Ⅱ 業務報告

対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
------	--------------------

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	紹介率 65 % 超、逆紹介率 40 % 超	
紹介率	$\textcircled{1} / (\textcircled{2} - (\textcircled{3} + \textcircled{4} + \textcircled{5})) \times 100$	77.0 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	8,336 人
	②初診患者数	17,243 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数（初診に限る）	2,568 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数（初診に限る）	3,612 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数（初診に限る）	241 人
逆紹介率	$\textcircled{7} / (\textcircled{2} - (\textcircled{3} + \textcircled{4} + \textcircled{5})) \times 100$	97.7 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	10,579 人

2 共同利用の実績

高額医療機器共同利用件数	2,737件
共同利用病床数	5床
共同利用病床利用率	5.15%
共同利用施設・設備	医療研修センター、放射線関連施設、臨床検査関連施設、図書室、健康管理センター（記念ホール等）、がん相談支援センター、空調、パソコン、プロジェクター、医学関連文献、CT、MRI、RI、PET/CT、内視鏡
登録医療機関数	89機関

3 救急医療の提供の実績【（１）又は（２）のどちらかを選択すること】

（１）救急患者数

救急搬送による救急患者数	5,162人（2,934人）
救急搬送以外の救急患者数	15,607人（2,241人）
合計（うち初診患者数）	20,769人（5,175人）

※括弧内は、入院を要した患者数

（２）救急医療圏（２次医療圏）人口における救急搬送患者数割合

A：救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数 （初診患者のみ）	人
B：救急医療圏（２次医療圏）人口※	人
C： $A/B \times 1000 > 2$	（小数点第1位まで記入）

※２次医療圏人口に関しては総務省統計局により実施された直近の国勢調査の人口（該当２次医療圏における市区町村人口の総和）を用いること。

（３）救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	・ 美作医学会学術講演会 「フレイルや認知症に配慮した不眠症治療のあり方」 他 ・ 地域連携会議セミナー（CCセミナー） 「非結核性抗酸菌症について」 「救急にまつわる最近のあれこれ」 他	
地域の医療従事者への実施回数		12回
合計研修者数 ※院外からの延べ参加人数		151人
研修体制	研修プログラムの有無	有
	研修委員会の設置の有無	有
	研修指導者数	43人
研修施設	医療研修センター講義室、医療研修センターミーティング室、医療研修センターカンファレンス室、医療研修センタートレーニング室、健康管理センター津山慈風会記念ホール、健康管理センター会議室 A、 B	

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	診療録管理室長	
管理担当者	診療録管理室職員	
診療に関する諸記録の保管場所	電子カルテ、診療録管理室	
病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所	共同利用の実績	診療録管理室
	救急医療の提供の実績	診療録管理室
	地域医療従事者向け研修の実績	地域連携室
	閲覧実績	診療録管理室
	紹介患者に対する関係帳簿	地域連携室

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	診療録管理室長		
閲覧担当者	診療録管理室職員		
閲覧に応じる場所	診療録管理室、閲覧室		
前年度の総閲覧件数			1件
閲覧者別延べ件数	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	1件
		歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

7 委員会の開催実績

委員会の開催回数	4回
委員会の概要	<p>①令和5年6月29日</p> <p>・令和4年度実績報告（紹介率・逆紹介率、地域連携研修会（CCセミナー）、開放病床共同利用報告、救急応需報告、結【ゆい】カード報告）</p> <p>②令和5年8月17日</p> <p>・地域連携講演会「大動脈弁狭窄症におけるTAVIの有用性」 他</p> <p>③令和5年12月21日</p> <p>・令和4年度実績報告（紹介率・逆紹介率、地域連携研修会（CCセミナー）、開放病床共同利用報告、救急応需報告、結【ゆい】カード報告）</p> <p>④令和6年2月29日</p> <p>・令和4年度実績報告（紹介率・逆紹介率、地域連携研修会（CCセミナー）、開放病床共同利用報告、救急応需報告、結【ゆい】カード報告）</p>

8 患者相談の実績

相談を行う場所	相談窓口、相談室、入退院支援センター
主たる相談対応者	MSW 4名
相談件数	8,572件
相談の概要	<p>①転院先に関する相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ病院や療養型病院等への患者の状態に応じた転院先の紹介、転院調整 <p>②経済的問題に関する相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高額療養費制度の活用、特定疾患の説明 ・傷病手当金、障害年金制度の紹介、活用 ・生活保護制度の紹介、活用 <p>③介護、療養上の問題に関する相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の説明 ・施設入所に関する相談 ・在宅生活を可能にするためのサービスの紹介 ・ケアマネージャー、訪問看護ステーション、かかりつけ医との連携 ・退院前カンファレンスの開催 <p>④心理、社会的問題に関する相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院、治療等による心理的不安に対する相談補助 <p>⑤受診、受療に関する相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内他部署と相談を行いながら適切な受診の案内を行う ・がん相談

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組（任意）

（１）病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
評価を行った機関名、評価を受けた時期	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人日本医療機能評価機構 <p>認定期間：2022年11月18日～2027年11月17日 2023年 1月 4日更新（認定5回目） 初回認定：2002年11月18日</p>

注）医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

（２）果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有
情報発信の方法、内容等の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・メデイネット（病院広報誌）、ホームページ、フェイスブック

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無		有
退院調整部門の有無概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護師、社会福祉士、臨床心理士、薬剤師、地域連携事務職員で構成 ・ 各職種が連携し、患者の入院前から退院後までの生活を見据えた支援を行う ・ 全病棟退院支援カンファレンスの実施 ・ 退院に向けた不安を軽減し、安心した療養生活が送れるように院内他職種と協力して調整を図る 	

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定		有
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	①策定したクリティカルパスの種類・内容 ・ 脳卒中連携パス、がん連携パス、大腿骨頸部骨折パス、心筋梗塞パス ②地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み ・ 地域連携室の充足、クリティカルパスの見直し（連携パス会議）、登録医の拡大等、連携登録医療機関の充足	

病院名

津山中央病院